

[1130/5G-360-001]

Ver.19

5.免疫学的検査 >> 5G.自己免疫関連検査>>5G360 抗インスリン抗体

抗インスリン抗体

insulin autoantibody

連絡先 3764

患者同意について

検査結果に影響を与える臨床情報

オーダーボタン名(検体)

1130

001

抗インスリン抗体

検査予約

至急オーダー

不可

検査オーダーに関する注意事項

患者の検査前準備

検体採取のタイミング

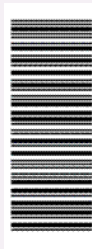
ラベル見本(検体)(単項目オーダー時)

キョウダイテスト

注 80 外



ケツキメンイキ.



血液

中検外2

*_*_*_*_*_-90016

**_*_*_*_*_*_*_*_*

C6

6ml

ラベル見本(細菌)(単項目オーダー時)

採取容器・検査材料

[1130/5G-360-001]

Ver.19

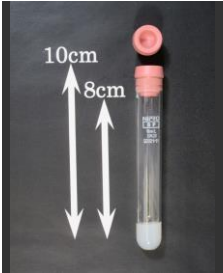
5.免疫学的検査 >> 5G.自己免疫関連検査>>5G360 抗インスリン抗体

抗インスリン抗体

insulin autoantibody

連絡先 3764

| | | | |
|------|----|--------------------|--------|
| 01 | C6 | 凝固促進剤 + 血清分離剤(ピンク) | |
| 採取材料 | 血液 | 採取量 | 6 mL |
| 遠心分離 | | 遠心 | |
| 測定材料 | 血清 | 測定必要量 | 0.3 mL |



採取容器について

検体採取について

採取後検体の取扱い

検体搬送について

採取検体の保存条件

| | 保存検体種 | 優先 保存条件 | 保存条件1 | | 保存条件2 | | 保存条件3 | |
|----|-------|------------|-------|------|-------|-----|-------|-----|
| | | | 温度 | 安定性 | 温度 | 安定性 | 温度 | 安定性 |
| 01 | 血清 | 保存条件1 | 冷蔵 | 12 週 | | | | |

受入不可基準

| 溶血 | 検体凝固 | 強乳び | 採取量過不足 | 採取容器違い |
|-------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | |
| 尿材料違い | 冷蔵保存なし | 遮光保存なし | 開栓 | 黄疸 |
| | | | | |

検査に要する時間(生理検査)

再検査・追加検査の対応可能日数

検体到着日から60日間 (検体量ある場合のみ)

(分析物の安定性については「採取検体の保存条件」を参照)

検体採取に関する注意事項・検査の実施に関する注意事項

検査機器

&nbsp;

[1130/5G-360-001]

Ver.19

5.免疫学的検査 >> 5G.自己免疫関連検査>>5G360 抗インスリン抗体

抗インスリン抗体

insulin autoantibody

連絡先 3764

| | |
|--------------|-----------------|
| 検査所要日数 | 4～7日 |
| 検査部門・委託先 | 外部委託（LSIメディエンス） |
| 検査部門(平日時間内) | |
| 検査部門(時間外・休日) | |
| 検査結果報告について | |
| 基準値設定材料・検査方法 | |
| 基準値設定材料 | 血液 |
| 検査方法 | ラジオイムノアッセイ（RIA） |

生物学的基準範囲

| | | 男性 | 女性 | 単位 |
|----|-------------|--------|--------|-------|
| 52 | 濃度 | 0.4 未満 | 0.4 未満 | U/mL |
| 52 | 濃度（nU/mL換算） | *** | *** | nU/mL |

基準値情報

2023年4月1日から当面の間、新法（U/mL）から換算した旧法相当値（nU/mL）を併せて報告します。
（旧法相当値：nU/mL）＝（新法実測値：U/mL）×312.5

緊急異常値

電話連絡対応

臨床的意義

インスリン抗体には、糖尿病治療を目的として投与された外因性のインスリンに対して産生されるものと自己免疫機序により産生されるものがある。インスリン投与中の糖尿病患者血中にはしばしばインスリン抗体が出現し、治療抵抗性の原因となることから、定期的なスクリーニングが重要である。他方、インスリン投与の既往がないにもかかわらず血中に抗インスリン抗体の存在する病態としてインスリン自己免疫症候群が知られている。本症は低血糖を生ずる点で特徴的であり、糖尿病治療時に出現する外因性インスリンに対する抗体が低血糖を生じない事実と際立った対照を成している。一説には、インスリン自己免疫症候群に検出される抗体はいったん結合したインスリンを容易に遊離し、自発性低血糖を惹起するのではないかとの見解がある。しかしながら、双方の抗インスリン抗体におけるインスリン親和性の相違は必ずしも証明されているわけではなく、低血糖状態の発現機序についての結論は得られていない。

[1130/5G-360-001]

Ver.19

5.免疫学的検査 >> 5G.自己免疫関連検査>>5G360 抗インスリン抗体

抗インスリン抗体

insulin autoantibody

連絡先 3764

いづれにしても、血中に抗インスリン抗体が存在する場合、インスリンの免疫学的測定系に干渉するために 真のインスリン値の測定は困難となる。干渉の仕方は、インスリン測定系におけるB/F分離の様式によって異なり、固相法や二抗体法では見掛け上高値に、塩析法（PEG法）や吸着法（デキストラン炭末法）では低値となる。特に高インスリン血症の鑑別に当たっては、抗体の有無をチェックすることが肝要である。

異常値を示す病態・疾患

高値を示す病態
 インスリン治療による抗体産生時、インスリン自己免疫症候群
低値を示す病態
 低値側の臨床的意義は少ない

参考文献

LSIメディエンス 検査要項

JLAC10

| | | |
|-----|-------|----------|
| 分析物 | 5G360 | 抗インスリン抗体 |
| 識別 | 0000 | |
| 材料 | 023 | 血清 |
| 測定法 | 000 | |

変更履歴

| Ver | 文書更新日 | 変更適用日 | 内容 |
|-----|------------|-------------|--------------------------------|
| 1 | 2008/04/01 | 2008/04/01～ | 制定 |
| 2 | 2009/03/29 | 2009/04/01～ | 検査内容変更 |
| 3 | 2014/03/28 | 2014/04/01～ | 委託先会社名変更(三菱化学メディエンス⇒LSIメディエンス) |
| 4 | 2015/04/24 | 2015/04/01～ | 外部委託先変更(LSIM⇒BML), 報告日数・基準値変更 |
| 5 | 2016/04/25 | 2016/04/01～ | 平成28年度診療報酬改定 |
| 6 | 2017/03/21 | 2017/02/23～ | 検体ラベル表記変更[O]⇒[] |
| 7 | 2018/04/06 | 2018/04/01～ | 平成30年度診療報酬改定 |
| 8 | 2019/04/30 | 2019/04/01～ | 外注業者変更([BML]⇒[LSIM]), 基準範囲変更 |

[1130/5G-360-001]

Ver.19

5.免疫学的検査 >> 5G.自己免疫関連検査>>5G360 抗インスリン抗体

抗インスリン抗体

insulin autoantibody

連絡先 3764

| | | | |
|----|------------|-------------|---------------------|
| 9 | 2019/11/18 | 2019/11/18～ | JLAC10結果識別名称を変更 |
| 10 | 2019/12/16 | 2019/12/16～ | JLAC10更新に伴う検査項目名称変更 |
| 11 | 2020/04/02 | 2020/04/01～ | 令和2年度診療報酬改定 |
| 12 | 2020/12/16 | 2020/12/17～ | 採血容器変更 |
| 13 | 2021/08/02 | 2021/05/27～ | 採血容器変更 |
| 14 | 2022/03/09 | 2021/12/09～ | 採取名称部分に検体搬送先を印字 |
| 15 | 2022/08/01 | 2022/04/01～ | 令和4年度診療報酬改定 |
| 16 | 2022/12/01 | 2022/12/01～ | 受入不可基準などについて全面改訂 |
| 17 | 2023/04/17 | 2023/04/01～ | 検査試薬変更 |
| 18 | 2023/12/21 | 2023/12/21～ | 必要検体量を追記 |
| 19 | 2024/06/04 | 2024/06/01～ | 令和6年度診療報酬改定 |